



平成17年10月14日

各 位

会社名 北雄ラッキー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 桐生泰夫  
(JASDAQコード: 2747)  
問合せ先 専務取締役総務部長 鴻野英樹  
TEL (011) 643-3301

### 平成18年2月期通期業績予想(連結・単体)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成17年4月15日の決算発表時に公表いたしました平成18年2月期(平成17年3月1日~平成18年2月28日)の通期業績予想(連結・単体)及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成18年2月期 連結通期業績予想の修正(平成17年3月1日~平成18年2月28日)

[単位:百万円]

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	49,240	605	331
今回発表予想(B)	47,550	115	68
増減額(B-A)	1,690	490	263
増減率(%)	3.4	81.0	79.5
前期(平成17年2月期)実績	48,327	583	300

#### 2. 平成18年2月期 単体通期業績予想の修正(平成17年3月1日~平成18年2月28日)

[単位:百万円]

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	48,800	550	302
今回発表予想(B)	47,130	77	45
増減額(B-A)	1,670	473	257
増減率(%)	3.4	86.0	85.1
前期(平成17年2月期)実績	47,907	518	262

#### 3. 平成18年2月期 1株当たり期末配当金の修正

	1株当たり期末配当金
前回発表予想(A)	15円00銭
今回発表予想(B)	5円00銭
増減額(B-A)	10円00銭
前期(平成17年2月期)実績	15円00銭

中間配当金は実施していません。

#### 4．修正の理由

当中間期に於きましても、北海道内の個人消費は依然として改善が進まぬままに推移いたしました。道内全体としての売上規模が縮小傾向にあるなか、同業大型店の出店や異業種との競争も顕著化となるなど、厳しい競争状況が続きました。また4月・5月の天候不順や低温が続いたことも大きく影響し、売上高の低下傾向が続き、既存店売上高は96.4%と落ち込みました。この結果、単体売上高は当初予想を1.9%下回り、449百万円の減額となりました。荒利益率につきましても、競争各社間での価格競争が激しさを加え、前期に対して0.4%の低下となりました。一般管理費につきましては当初計画より削減いたしました。売上高・利益の減少を補うまでには至らず、売上高・経常利益いずれも当初予想を下回りました。

下半期につきましても、北海道内における所得や消費の環境が大幅に改善されることは想定しにくく、また新たな競合店の出店も予定されており、一段と厳しい競争状況が続くものと判断されます。

当社は売上高・利益の確保のため、価格政策の一部見直しを実施し、競合店対策の継続を図る一方、付加価値商品及び健康安全志向商品の販売強化、徹底した商品ロスの防止に努めるとともに、より一層の経費の削減に取り組んでまいりますが、下半期に2店舗の閉鎖計画があること、また新規店舗の開店時期が1ヶ月程遅延した影響などもあり、現時点において通期の売上高・経常利益・当期純利益とも当初予想を下回る見通しにあるため、上記のとおり修正いたします。

また、こうした状況から判断いたしまして、1株当たり期末配当金につきましても、当初発表予想の15円より減額し、今回予想は5円に修正いたします。

以上